

# 連携項目抽出版タイムラインの更新 に関する説明資料

令和6年12月

# 目次

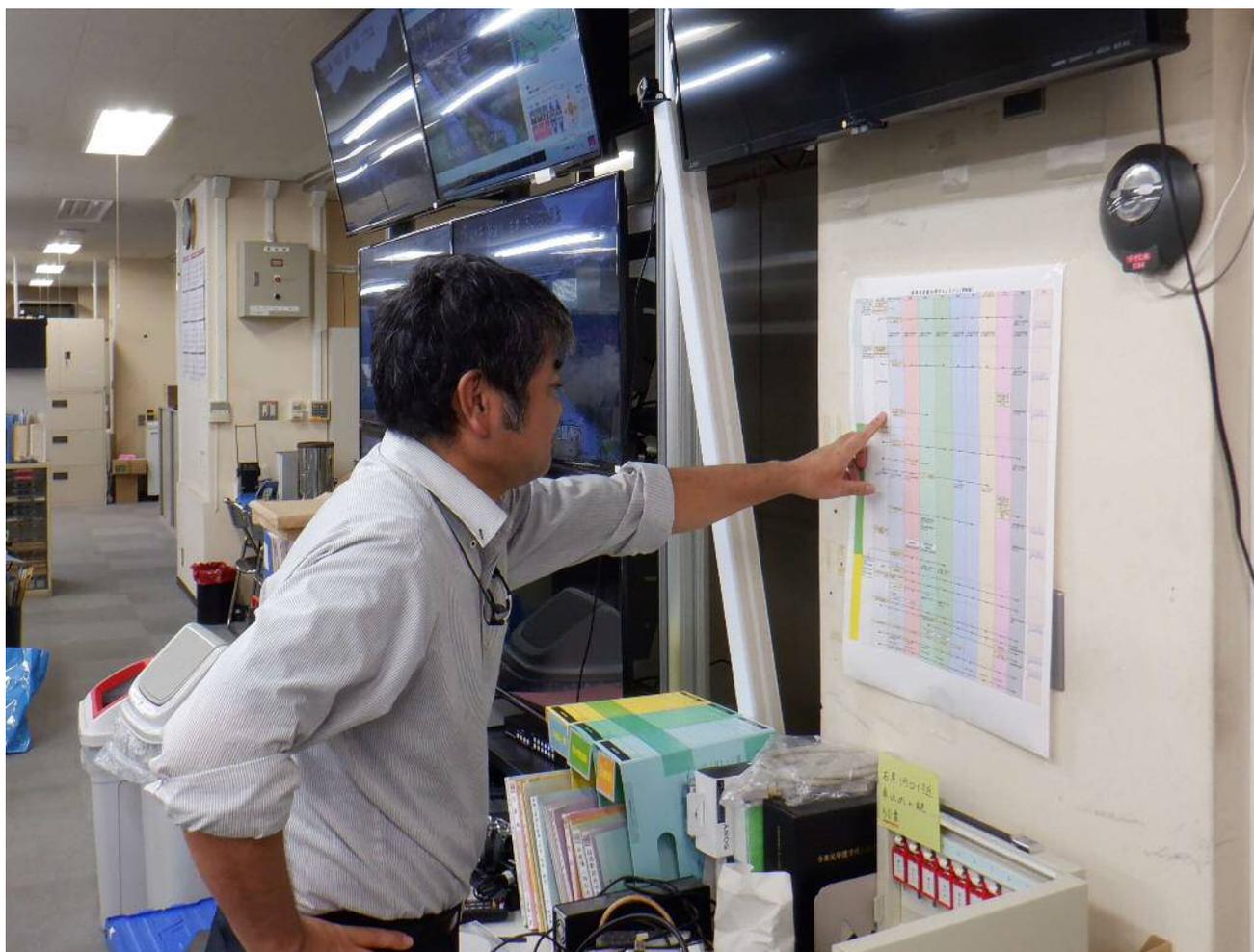
1. 連携項目抽出版タイムラインの更新について
2. 更新方針
3. 更新イメージ
4. 今後の調整



# 1. 連携項目抽出版タイムラインの更新について

## 多機関連携のさらなる強化を目指して

- 「連携項目抽出版タイムライン」の具体的な活用方法  
タイムラインが発動されたら、各機関の災害対策本部等で、  
当タイムラインをホワイトボードや壁面等に掲載し、  
災害対応に活用（連携部分の見える化、重要事項の再確認等）



## 2. 更新方針①

### 多機関連携のさらなる強化を目指して

#### 《重要項目の抽出方針》

各機関が保有している防災行動計画や最新の取組内容との整合性を図りつつ、災害時に発生する状況を予想し、各機関が円滑に防災行動を実現するため、

**「連携」・「周知・共有」**をキーワードにとりまとめる。

#### ① 関係機関と「連携が必要な行動項目」を抽出【トリガーとなる情報】

- 関係機関間で連携が必要な行動項目（関係機関が節目となる防災行動を実施するキッカケになる行動項目）をとりまとめる。

#### ② 関係機関に「周知・共有しておくべき重要な行動項目」を抽出【心構えとなる情報】

- 関係機関がトリガー情報をきっかけに、節目となる防災行動をとる前の準備として、参考となる他の機関の動き（防災行動）をとりまとめる。

## 2. 更新方針②

### 多機関連携のさらなる強化を目指して

#### ■重要項目の抽出の具体例

##### ①関係機関と「連携が必要な行動項目」を抽出【トリガーとなる情報】

- 関係機関間で連携が必要な行動項目（関係機関が節目となる防災行動を実施するキッカケになる行動項目）をとりまとめる。
- 気象台が気象業務法に基づき発表する大雨警報などの情報や河川管理者が水防法に基づき発表する洪水予報などの情報を中心に抽出する。

##### ■具体例

- ・ 気象台の台風情報や大雨・洪水警報→タイムライン立ち上げ・移行（各機関行動開始）
- ・ 水防警報（待機・出動・指示）発表→水防団待機・出動・水防工法実施
- ・ 洪水予報（氾濫注意・避難判断・氾濫警戒・氾濫発生）  
→避難情報の発令、交通機関の運休、ライフラインの復旧対応準備など

##### ②関係機関等に「周知・共有しておくべき重要な行動項目」を抽出【心構えとなる情報】

- 関係機関がトリガー情報をきっかけに、節目となる防災行動をとる前の準備として、参考となる他の機関の動き（防災行動）をとりまとめる。

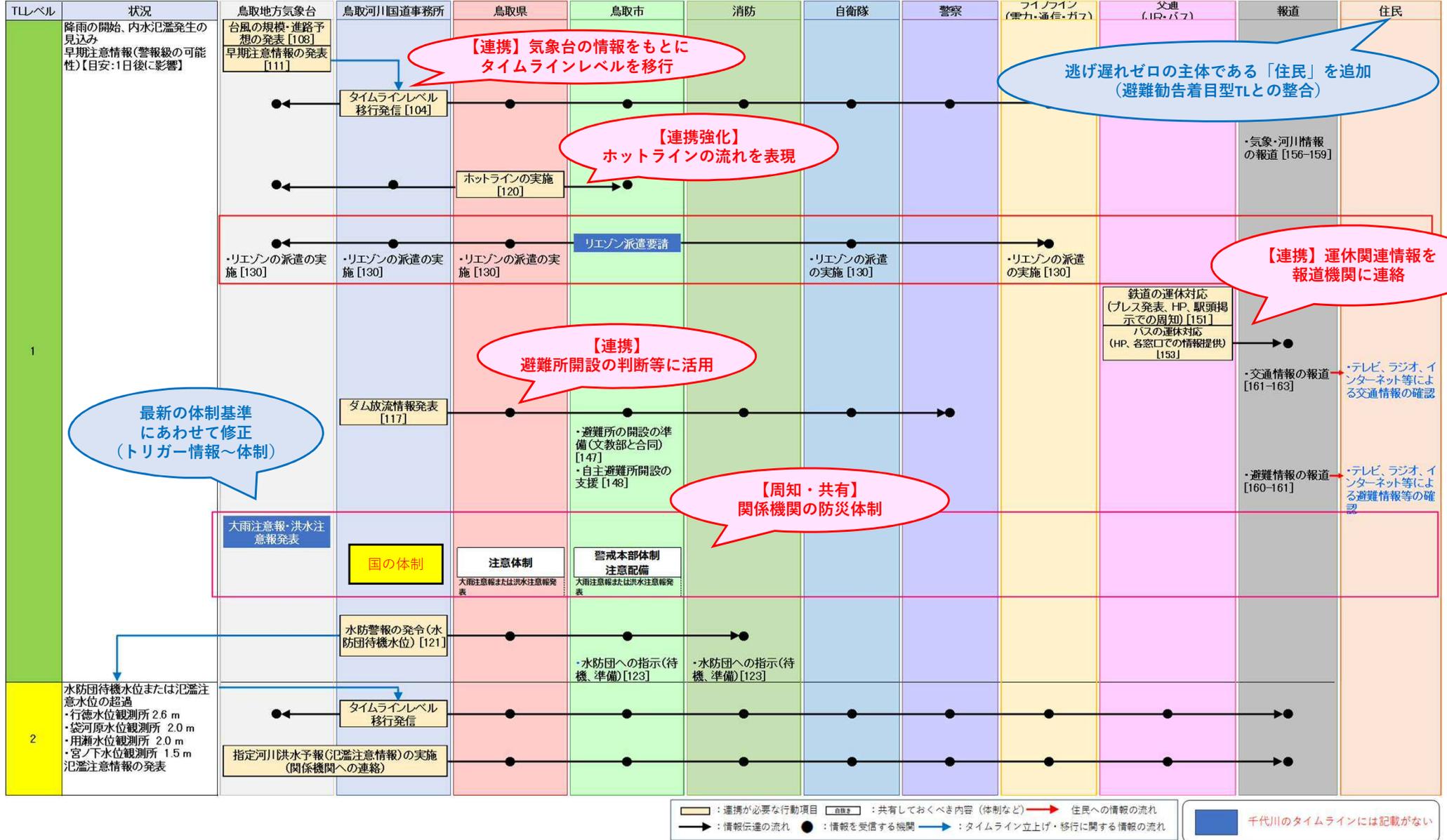
##### ■具体例

- ・ 地域の安全確保のために各機関が行う施設点検に関する情報（河川巡視や道路パトロール等）
- ・ 円滑な防災活動のために各機関が行う防災体制に関する情報（災害対策本部の設置等）

# 3. 更新イメージ

## 多機関連携のさらなる強化を目指して

### 連携項目抽出版タイムライン(更新案)



青：時点更新＋住民追加のみ

## 4. 今後の調整

多機関連携のさらなる強化を目指して

### □確認事項（お願い事項）

- ・ 【①連携】，【②周知・共有】の項目として問題ないか？

追加：●●（理由：ex.機関Aとの連携で必須なため）

削除：●●（理由：ex.自機関完結の対応であるため）

更新：●●（理由：ex.最新の取組と整合させるため）

### □今後のスケジュール

- ・ 12月：事務局案を提示
- ・ 1月：各機関で確認（適宜調整）
- ・ 2月：タイムライン検討会で共有（最終調整）